

豊洲新市場予定地の汚染物質処理に関する実験に対する主な質問等について

質問募集対象 「豊洲新市場予定地の汚染物質処理に関する実験」
 質問等募集期間 平成22年7月22日(木)(第13回技術会議終了後) ~ 平成22年7月28日(水)
 寄せられた質問等 22件 (Eメール:16件、FAX:6件)

項目	質問数	主な質問
1. 実験に関するもの	72	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初期値と既往調査値とが大きく乖離していることが判明した時点で、実験を一時中断し、以後の計画を再検討すべき。 ・ ベンゼンとシアン化合物等の複合汚染土壌に対し、原位置微生物処理において、ベンゼンの浄化が可能か。 ・ 中温加熱処理の追加実験では、豊洲の土壌を用いた模擬汚染土壌で実験を行なうべき。 ・ 地下水浄化処理実験において、粘性の高い土壌では、揚水できないと思われるが、いかがか。
初期値に関するもの	(11)	
各処理に関するもの	(33)	
データに関するもの	(9)	
実験のやり方に関するもの ほか	(19)	
2. 盛土に関するもの	10	<ul style="list-style-type: none"> ・ 全盛土について、全汚染物質で調べる必要があるのではないか。
3. その他	61	<ul style="list-style-type: none"> ・ 質問募集期間が短い。 ・ 今回の実験で得た技術・知見を全国の土壌汚染の無害化への活用を期待する。
汚染対策に関するもの	(26)	
技術会議に関するもの	(10)	
質問等の募集に関するもの ほか	(25)	
計	143	

質問等の数は、今後、回答を作成していく中で、変更となることがあります。